

「一日一問」

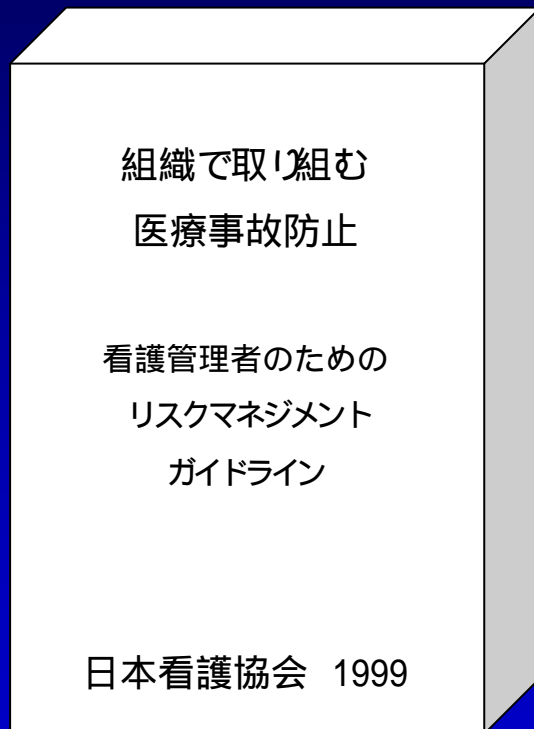
- 自分で学ぶ目録のチェックポイント-

札幌医科大学 小林靖明
大阪市立大学 川西幹雄
東京大学 床井啓太郎

コンセプト

- ? 初心者が日々の業務でぶつかる疑問、トラブル
- ? 目録基準 (以下「基準」と略) コーディングマニュアル (以下「CM」と略) など、自分で調べる力を身につけよう
- ? ルールをいかに適用するか
- ? 自分でまとめてそれを蓄積していこう

「副書名からPTBLへ」

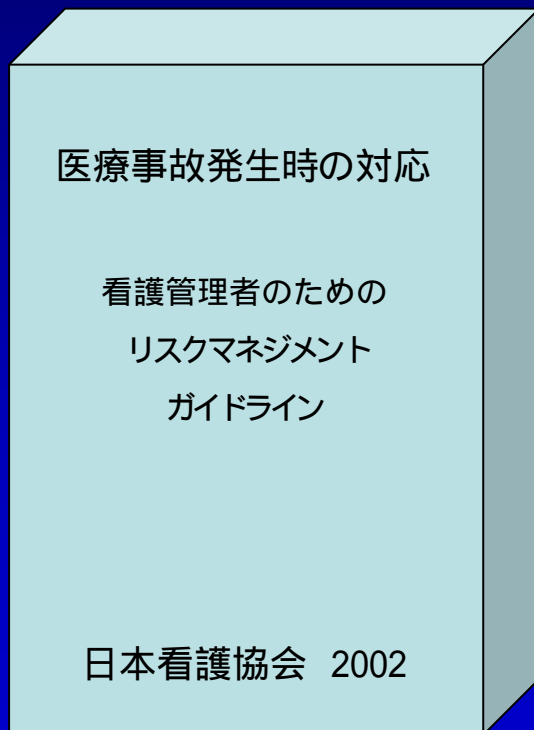


? TR: 組織で取り組む医療
事故防止：看護管理者の
ためのリスクマネジメント
ガイドライン

? 1999年時点で上のよう
に作成した

2002年発行のものが来た

- 大きさは同じでデザイン、レイアウトまで共通。
色使いだけが違う



TR: 医療事故発生時の対応 : 看護管理者のためのリスクマネジメントガイドライン

同じように副書名として記述した。
正しいか？

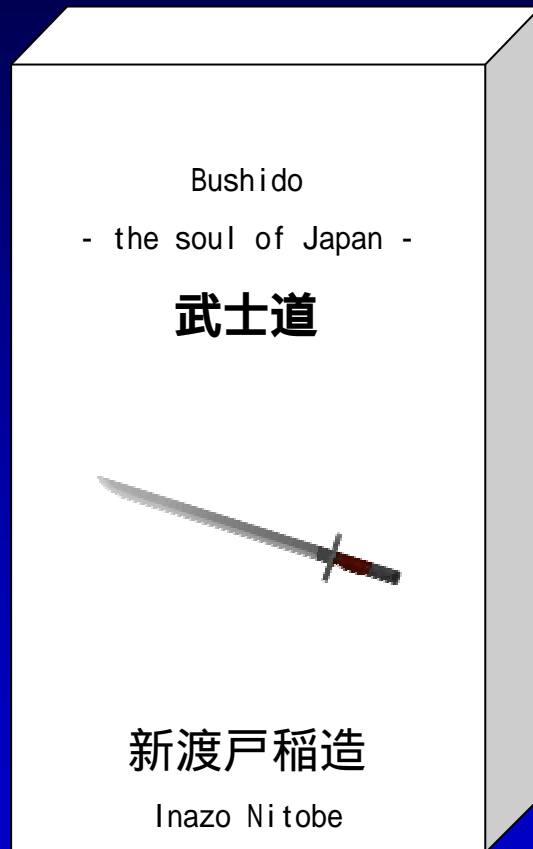
『はじめに』で二つの資料が関連出版物である、
とある

解答

? PTBLとするべきである

? 両者を比較し、さらに『はじめに』の記述を
考え合わせると、1999年の段階では副書名と
考えられた部分が、2002年になってPTBLとし
て取り扱うべき事項となった、という判断
(参考 基準「4.2.1.2 集合書誌単位」)

著者名典拠の言語表記



英語版である

- ? 英語版なので英語表記の著者名リンク?
- ? 著者名典拠ファイルには「新渡戸, 稲造」しかなかったため、「Nitobe, Inazo」という典拠を新たに作ったのだがこの対応は正しいだろうか?

解答と根拠

- ? 標目形の違いによって新たに典拠ファイルは作成しない(基準「8.2.2 著者名典拠レコードの作成単位」)
- ? 「ある著者に対して各著作の原版で用いている主な言語が日本語、中国語、韓国・朝鮮語である場合は、日本名と判断し、統一標目形はNCR87R及び本マニュアル第8章の規定に基づいて記述を行う。」(「CM」8.0.2.A1)

新渡戸, 稲造」の典拠ファイルを選択 (SFフィールドに "Nitobe, Inazo" の記載がなければ追加)してリンク

PHYSの書き方 - 和洋の違いは

? 前付け12ページ、本文134ページ、図版入り
で高さ27cmの図書がある。

? 洋書だとすればPHYSの記載は

PHYS: xii, 134 p. : ill. ; 27 cm

となるが、和書だったらどう書く?

ヒント: 適用する規則の違い

? 「CM」0.1.2 和資料と洋資料

「目録対象資料を登録する場合、和資料ならば「日本目録規則1987年版改訂版」を適用し、洋資料ならば「英米目録規則第2版(1988年改訂、1993年修正)」を適用し、(略)」

解答

・比べてみよう

和 PHYS: xii, 134p. : 図版 : 27cm

洋 PHYS: xii, 134 p. : ill. : 27 cm

(は半角スペース)

・区切りのコロン、セミコロンの用法にも注意して！

(発表者はこれで苦勞しました)

うっかりMARCを流用すると...



? JPMARCを流用したらしく
PTBL: Step series 内科
となっていた

? ところが一方で「Step series」と
いう親書誌も存在する

? 出版社のHPには「STEP内科シ
リーズ、(同)外科シリーズ、ただ
のSTEPシリーズ(?) と分けて」と
記載されている

「整形外科」と同じ階層処理でいいか？

- ? Step series内科、Step series整形外科とも装丁が似ている
- ? 序文には「ステップシリーズ」の表現もある
- ? 子書誌多数の作成館に尋ねると「どっちでもいいんじゃない? 」と言われてしまった(!)

(資料の写真は海馬書房HPから引用しました)



解答

- ? “Step series ”を最上位とする
- ? “内科” ; “外科 ”に含まれるものはPTBLの中位にこれを記載する
- ? MARCを常に信用はできない、という例

書誌構造に変更を及ぼす」修正をしたいが...

- ? 山本義隆 『磁力と重力の発見』(みすず書房)
 - 1 .古代・中世
 - 2 .ルネサンス
 - 3 .近代の始まり

- ? 以上3巻、別書誌となっている(一見正しい)。ただし作成は他館である
 - (1巻の記述
 - TR: 古代・中世 / 山本義隆著
 - PTBL: 磁力と重力の発見 (中略)1//b

- ? ここが曲者 = 3巻を通した章立てが取られている

理論上は...

? 『CM』2.1.11F1 (巻冊次)

巻冊次とは、固有のタイトル」ではない、単行書誌単位を複数の出版物理単位に分割するために付けられた呼称であり、次の2つに分けられる。

ア)順序付けに関するもの

イ)順序付けとは関係ないが、出版の都合上、何らかの識別のため、付与されるもの

ア)を「巻次等」、イ)を「部編名」という。」

? 通した章立てなのだから上のア)に相当するのではないか

? そう考えると単一書誌でVOL展開すべきではないのか

勝手に直してはいけない

? PTBLをTRに、TRをVOLに変更すればデータの的には正解

VOL: 古代・中世

VOL: ルネサンス

VOL: 近代の始まり

TR: 磁力と重力の発見 (以下略)

PHYS: 3冊 ; 20cm

? データを訂正の上所蔵リンクを付け替える

? ということを作成館と相談、依頼する

(「CM」21.0B2)

コラム？ 現実には規則よりも強し」

- ? 所蔵館が少数 (1ケタ台) であることが前提であればここまでで話は終わる
- ? 所蔵館が3ケタ近くに達するようであれば処理方法の判断をNIIに仰ぐ必要が出てくる
- ? その結果、今回のように「明らかに問題のある書誌」であっても結論が「現状維持」となることもある (この問題の場合、実際にはこの結論となった)
 - 全所蔵館が付け替え処理をしてくれるとは限らない
 - 付け替え処理が完了しないと正しい書誌と誤った書誌の重複が放置されることになる

おわりに

品質維持 (向上) スキルアップをめざして

- ? 人に聞いてもいいけれど
- ? やっぱり自分で考えないと身につけません
(目録に限ったことじゃない)
- ? といっていきなり本番じゃちとつらい
- ? 「自分で学ぶ」だけでなく引き継がないとだめ
- ? そこにこの手の問題集の意義がある(?)

おことわり

- ? 設問自体はすべて実際にあったケースに基づいています
- ? ただしプレゼンテーション、レポートにまとめる際、書誌データはかなりアレンジしました
- ? そのため記述方法やデータの中味に実際と異なる部分が多々あります。ご了承ください